



..... ご 報 告

しいたけ栽培体験 ~ 菌打ち ~ 3月1日

府中小学校3年生児童が原木しいたけ栽培の菌打ちを体験しました。

原木しいたけは、クヌギやコナラなどの原木を1メートル程に切り出し、しいたけ菌を植え付け、原木の養分を分解しながら自然の中で栽培します。

児童は垂井町特用林産生産クラブの石山終藏さん、衣斐正道さん指導のもと、原木にドリルで穴を空け、しいたけの種菌を植え付ける作業を行いました。



植え付けられた種菌は1年半以上かけて原木全体に巡り、しいたけが発生します。数週間でたくさん収穫できる菌床栽培と違い味も栄養価も格別！児童が5年生になるころ収穫期を迎え、収穫祭を開催する予定です。楽しみです！



しいたけ菌 (種菌)
しいたけの菌糸を培養した木片

初めての抹茶体験 3月2日

府中こども園の5歳児が府中地区まちづくりセンターを訪れ、初めて茶道を体験しました。



↑大ウケした「あっかんべ大福」。園児は全員ぺろりと食べてくれました。

茶せんをしゃかしゃか動かし、友達のために心を込めてお茶を点てました。初めて口にする抹茶の味は…「思ったほど苦くなかった」そうです。



畳に手をついてお客様にあいさつをする茶道の作法を教えてくださいました。衣斐先生は、「さすがもうすぐ一年生になる子は違うね～」と褒めてくださいました。



ふんばお茶っしがり
VICTOR

指導者紹介
衣斐みどり先生、河合千鶴子先生
川口三千代先生、大林朱見先生

いきいきふれあいサロン 3月13日

今年度最後のサロンは、体組成測定と健康のお話し、早春の寄せ植えと盛りだくさんでした。



保健センターの外花万里子保健師が手にしているのは、1日10本の喫煙を1年間続けたときの発がん性物質の蓄積状態を可視化したもの。家族に喫煙者がいたら禁煙を促してほしいと話しました。また、健康寿命を延ばすにはフレイルを予防する事が大切。動物性タンパク質を十分に摂り、簡単な運動を続けるとよいそうです。フレイル→年を取ることによって心身の機能が衰え、健常から要介護へと移っていく中間の段階



休憩を挟んで寄せ植えを楽しみました。一足先に春を感じる心豊かな時間となりました。

新型コロナウイルス感染症対策に係る府中地区まちづくりセンターの利用について

- ・利用者のマスク着用については、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねます。
- ・職員のマスク着用については、当面の間、感染不安のある方への配慮や職員間での感染予防のため、業務中のマスク着用を継続します。
- ・センター入り口での検温・手指消毒、換気等に引き続きご協力ください。

…………… 行 事 予 定 ……………

第11回理事会 令和5年4月21日(金)

時 間：19:00～20:00
場 所：府中地区まちづくりセンター
内 容：まちづくり協議会総会について

府中地区まちづくり協議会 総会 令和5年4月29日(土)

時 間：19:00～21:00
場 所：府中地区まちづくりセンター
内 容：事業計画案・予算案

4月の 休館日

4日、8日、9日、11日、18日、22日、23日、
25日、30日(選挙会場のため8日、22日は休館、
9日、23日は職員不在です)

いきいきふれあいサロン

府中小学校 150周年記念ウォーク

日 時：令和5年4月10日(月)
9:30～11:00
集 合：府中地区まちづくりセンター
行き先：安立寺、府中小学校校庭
参加料：100円
定 員：20名
持ち物：飲料水、タオル
参加希望の方は事前申込が必要です

SDGsについて学ぼう！⑬

ストップ！海洋プラスチックごみ！ プラスチックの生産量は過去十数年で激増し、特に使い捨てプラスチックが急増しました。廃棄物管理システムはこれに追いつかない状況で、リサイクルされるプラスチックは世界で年間9%前後にとどまっています。適切に処理されないプラスチックは海に流れ込み、海洋汚染や生物の生態系、人の健康に悪影響を及ぼしています。こうした影響を回避するため、世界全体の課題として取り組まれるようになりました。

よく耳にするマイクロプラスチックってなに？

マイクロプラスチックは以下の2つに分類されます。

一次マイクロプラスチック：製品や製品原料として使用する目的のため、微小なサイズで製造されたプラスチックのことで、マイクロビーズとも呼ばれています。身近では洗顔料や歯磨き粉のスクラブ剤などに利用されています。家庭の排水溝から海へと流出し、回収は不可能です。



成分表：ポリエチレン
(プラスチック素材)

マイクロビーズは洗顔料、歯磨き粉、シャンプー、化粧品、ベビーパウダーなど様々な製品に使用されています。

二次マイクロプラスチック：ペットボトルなどが川から海へ流出し、紫外線による劣化や波の作用などにより粉砕されてマイクロサイズになったものです。マイクロ化する前であれば対策は可能です。



食の安全への大きな懸念

マイクロプラスチックは海洋生物の生命を脅かし漁獲量の低下を招きます。食物連鎖を通じてあらゆる生物に取り込まれるため、プラスチック成分を取り込んだ魚・貝を摂取することによる人体への長期的な影響も懸念されています。

わたしたちにできることを考えよう

- ・生活からできるだけプラスチック製品の「使い捨て」をなくそう
- ・成分を確認してポリエチレンが含まれていない商品を購入しよう
- ・河川や海岸の清掃活動に参加しよう

垂井町：川と海のクリーン大作戦
6月24日(土)、10月8日(日)
府中地区まちづくり協議会：金地川
クリーン大作戦 5月27日(土)
※日程は予定です。参加を希望される方は
広報等で確認してください。

出典：環境省 プラスチックを取り巻く国内外の状況等